





算術書



上海圖書館藏

1947

算術書

第一冊

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----



...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一、  
二、  
三、  
四、  
五、

六、  
七、  
八、  
九、  
十、

十一、  
十二、  
十三、

十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、

二十一、

一、...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



卷之二

一、論及學問之重要，謂學問為人生之第一要務，不可一日而廢也。

卷之三

二、論及道德之修養，謂道德為立身之本，不可一日而缺也。

三、論及經濟之知識，謂經濟為生活之基礎，不可一日而無也。

四、論及藝術之欣賞，謂藝術為精神之享受，不可一日而缺也。

論及體育之重要，謂體育為強身之本，不可一日而廢也。

五、論及社會之責任，謂社會為人生之舞台，不可一日而無也。

六、論及國家之興衰，謂國家為民族之保障，不可一日而無也。

七、論及世界之和平，謂和平為人類之幸福，不可一日而無也。



卷之四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四



1870

Jan 1st ...

Feb 1st ...

Mar 1st ...

Apr 1st ...

一、此項...

一、

二、此項...

一、

三、此項...

一、

四、此項...

一、

五、此項...

一、

六、此項...

一、

七、此項...

一、

此乃... 之... 也...

此乃... 之... 也...

此乃... 之... 也...

傳

傳

此乃... 之... 也...

此乃... 之... 也...

此乃... 之... 也...



一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

一、  
 二、  
 三、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、

卷之三

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、

卷之三

卷之三

卷之三



一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、



一、論...  
 二、論...  
 三、論...

一、論...  
 二、論...

一、論...  
 二、論...  
 三、論...

一、論...  
 二、論...

一、論...  
 二、論...

一、論...  
 二、論...

一、論...  
 二、論...

一、論...  
 二、論...

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、



一、關於本國之經濟建設，應如何進行？

二、關於本國之政治建設，應如何進行？

三、關於本國之社會建設，應如何進行？

四、關於本國之教育建設，應如何進行？

五、關於本國之文化建設，應如何進行？

六、關於本國之國防建設，應如何進行？

七、關於本國之外交建設，應如何進行？

八、關於本國之國際合作，應如何進行？

九、關於本國之國際地位，應如何進行？

十、關於本國之國際責任，應如何進行？









其天... 其地... 其水... 其火... 其風... 其土... 其木... 其金... 其石... 其草... 其木... 其金... 其石... 其草... 其木... 其金... 其石... 其草...

論

一

夫天地之間... 萬物之生... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣...

二

夫天地之間... 萬物之生... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣...

三

夫天地之間... 萬物之生... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣...

四

夫天地之間... 萬物之生... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣...

五

夫天地之間... 萬物之生... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣...

六

夫天地之間... 萬物之生... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣... 而五行之氣... 莫不由乎... 五行之氣...



夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

一

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

一

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

一

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

一

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

一

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

一

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

夫一也 謂其本也 夫一也 謂其本也

一

此中... 卷之十

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭

論

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭

論

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭

論

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭

論

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭

論

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭

論

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

欽定四庫全書

四

欽定四庫全書

四

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書



...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

第一節 實業中之中國銀行與中國銀行

中國銀行

中國銀行之歷史，可分前清、民國、及現行三期。

前清時期，中國銀行之設立，係在光緒二十九年。

民國時期，中國銀行之改組，係在民國元年。

現行時期，中國銀行之發展，係在民國二十年。

中國銀行之組織，係由中央、地方、及國外三類。

中國銀行之業務，係由存款、放款、及匯兌三類。

中國銀行之業務

中國銀行之存款業務，係指吸收社會各界之存款。

中國銀行之放款

中國銀行之放款業務，係指將吸收之存款，貸放於社會各界。

中國銀行之匯兌業務，係指代客辦理各地之匯兌。

一、凡屬國家之政務，皆由中央與地方共同辦理。中央應負領導之責，地方則應負執行之責。此乃現代國家之基本原則。

二、地方自治之實施，應以民衆之參與為前提。政府應加強宣傳，提高民衆之政治覺醒，使其能積極參與地方事務。

三、地方自治之發展，應以經濟建設為基礎。政府應鼓勵民間投資，興辦實業，提高地方經濟水平，為自治提供物質保障。

（未完）

四、地方自治之實施，應以教育普及為前提。政府應興辦學校，提高民衆之文化素質，使其能理解自治之意義。

五、地方自治之發展，應以法治為保障。政府應加強法律宣傳，提高民衆之法律意識，使其能依法辦事。

六、地方自治之實施，應以人才培養為前提。政府應興辦訓練班，培養地方自治幹部，提高其辦事能力。

（未完）

（未完）



此書之旨，在於論述天地萬物之理，其言簡而意深，誠為世之

中

也。

夫天地之間，萬物並生，各有其性，不可不察也。人之性，與

中

也。天地之間，萬物並生，各有其性，不可不察也。人之性，與

中

也。天地之間，萬物並生，各有其性，不可不察也。人之性，與

中

也。天地之間，萬物並生，各有其性，不可不察也。人之性，與

中

也。天地之間，萬物並生，各有其性，不可不察也。人之性，與

中

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、

二十一、  
二十二、  
二十三、  
二十四、  
二十五、  
二十六、  
二十七、  
二十八、  
二十九、  
三十、

三十一、  
三十二、  
三十三、  
三十四、  
三十五、  
三十六、  
三十七、  
三十八、  
三十九、  
四十、

四十一、  
四十二、  
四十三、  
四十四、  
四十五、  
四十六、  
四十七、  
四十八、  
四十九、  
五十、

五十一、  
五十二、  
五十三、  
五十四、  
五十五、  
五十六、  
五十七、  
五十八、  
五十九、  
六十、

六十一、  
六十二、  
六十三、  
六十四、  
六十五、  
六十六、  
六十七、  
六十八、  
六十九、  
七十、

七十一、  
七十二、  
七十三、  
七十四、  
七十五、  
七十六、  
七十七、  
七十八、  
七十九、  
八十、

八十一、  
八十二、  
八十三、  
八十四、  
八十五、  
八十六、  
八十七、  
八十八、  
八十九、  
九十、

九十一、  
九十二、  
九十三、  
九十四、  
九十五、  
九十六、  
九十七、  
九十八、  
九十九、  
一百、

一百零一、  
一百零二、  
一百零三、  
一百零四、  
一百零五、  
一百零六、  
一百零七、  
一百零八、  
一百零九、  
一百一十、

一百一十一、  
一百一十二、  
一百一十三、  
一百一十四、  
一百一十五、  
一百一十六、  
一百一十七、  
一百一十八、  
一百一十九、  
一百二十、





